

2021年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		発声・滑舌			開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻		映画俳優科			昼間二部			
必修選択	必修	年次	I	担当講師	高島田薫先生			
授業形態	実習	総時間(単位)	60 (2)	講師略歴 劇団四季出身。在団中は『ライオンキング』『CATS』『赤毛のアン』『美女と野獣』などに出演。				
【授業の学習内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・先ずは挨拶・礼儀作法の徹底 ・俳優にとって必要不可欠な呼吸法(腹式呼吸)、開口発声という基本的なことを徹底的に習得 ・筋肉トレーニングも同時に行い、更にアプローチしていく。 ・毎日続けることで、なぜ必要なのか、どこを鍛えているのか、どのように変化していくのかを実感する。 								
【前期:到達目標】					【後期:到達目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸を完全に身体と頭に覚え込ませ、コントロール出来るようにする。 ・客観的に自分の発している言葉を聞き、判断、修正する。 ・毎日続けることで、体調によつての違い、その時の最善を目指す。 					<ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸を完全に身体と頭に覚え込ませ、コントロール出来るようにする。 ・客観的に自分の発している言葉を聞き、判断、修正する。 ・毎日続けることで、体調によつての違い、その時の最善を目指す。 			
前期					後期			
授業計画・内容					授業計画・内容			
1	呼吸法の理解			1	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
2	呼吸法・開口発声の理解			2	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
3	呼吸法・開口発声の理解			3	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
4	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)			4	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
5	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)			5	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
6	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)			6	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
7	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)			7	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
8	呼吸法・開口発声の実践(あめんぼの暗記)			8	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
9	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			9	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
10	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			10	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			
11	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			11	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)			
12	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			12	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)			
13	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			13	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)			
14	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			14	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)			
15	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)			15	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)			
評価方法	出席率80% 授業姿勢20%				評価方法	出席率80% 授業姿勢20%		
準備学習 時間外学習					使用教科書 教材 参考書			

2021年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名	英会話				開講区分	前期	後期	○ 通年 ○
学科・専攻	映画俳優科				昼間二部			
必修選択	必修	年次	1	担当講師	ロビン先生			
授業形態	実習	総時間(単位)	120	講師略歴	全国通訳案内士、東京国際映画祭、外国観光局主催パーティーなどで通訳司会			
【授業の学習内容】 旅行会話・過去形、現在完了形など時制を意識した日常会話。TOEIC～500、英検3級～2級								
【前期:到達目標】 挨拶・自己紹介・自分を語る・基本旅行会話					【後期:到達目標】 自信を持って英会話			

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
1	クラス分けテスト			1	趣味や家族の事		
2	挨拶・自己紹介			2	丁寧語、命令形		
3	基本文法の復習			3	食事		
4	自分を語る			4	銀行		
5	将来の目標			5	ホテル予約		
6	先週の出来事、思い出			6	病気と薬局		
7	疑問詞、付加疑問			7	観光と交通		
8	比較			8	前置詞と待ち合わせ		
9	受動態			9	郵便局		
10	助動詞			10	過去形と思い出		
11	自分の国の習慣や食事			11	経験と現在完了①		
12	前期のまとめ、夏休みの計画			12	経験と現在完了②		
13	空港、機内での会話			13	過去完了		後期試験
14	買い物、道を尋ねる①			14	後期まとめ		
15	買い物、道を尋ねる②			15	まとめテスト		
評価方法	出席率と積極性を重視			評価方法	出席率と積極性を重視		
準備学習 時間外学習				使用教科書 教材 参考書	Side by Side/ First Passport / Grammar in Use		

2021年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名	プレゼンテーション				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻	映画俳優科				昼間二部			
必修選択	必修	年次	I	担当講師	シカ・マッケンジー先生			
授業形態	実習	総時間(単位)	120		講師略歴	ロサンゼルスで俳優活動後、日米を拠点に翻訳家として訳書を多数出版。		

【授業の学習内容】

プレゼンテーションを学ぶ上で「ハリウッド」が表す商業的成功の裏には論理的、効率的かつ人間性重視のアプローチがあります。この授業は俳優自身の人間性に焦点を当てることから始めます(特別なことをしようとしな。普通の中に「特別」を見つける)。その後、人間が自然にもつリズムがいかにか脚本の構成に反映されるかを説き、論理的なアプローチへと導きます。

【前期:到達目標】

- ①「2分間再現(ウタ・ハーゲンエクササイズ)」:自分のリアルな日常生活に意識を向け、ステージで自分の動きが再現できる。
- ②時間外学習:2分間再現での体験を生かし、演技をしていない時間を学びの糧にできる。
- ③「ハリウッド脚本術」:「ストーリー」と「シチュエーション(あるいはただのギャグ、一発芸)」との違いを見分け、適切な演技プランが立てられる。

【後期:到達目標】

- ①稽古を「実験の場」として楽しく、かつ有意義に遂行できる。
- ②自分の身体部位や臓器に意識をシフトさせ、少なくとも12通りの発想で脚本解釈や演じ分けができる。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	ハリウッドスタイルを定義する		1	稽古でブロッキングを模索する	
2	自分の自然な動きを再現する		2	効果的なブロッキングを理解する	
3	自分の自然な動きを再現する		3	効果的なブロッキングを理解する	
4	身体表現の重要性を理解する		4	ブロッキングを意識して演技する	
5	ドラマの要素を理解する		5	ブロッキングを意識して演技する	
6	ハリウッドの脚本形式を知る		6	ブロッキングの変更に対応する	
7	キャラクターアークを理解する		7	ブロッキングの変更に対応する	
8	キャラクターアークを演技に生かす		8	自分のリアルな生活場面を演じる①	
9	キャラクターアークを創造する		9	自分のリアルな生活場面を演じる②	
10	ハリウッドのオーディション形式を知る		10	自分のリアルな生活場面を演じる③	
11	理想的な生活習慣を築く		11	自分のリアルな生活場面を演じる④	
12	コールドリーディングの対処法を知る		12	身体の部位を役作りに生かす①	
13	コールドリーディングの対処法を知る		13	身体の部位を役作りに生かす②	
14	コールドリーディングで演技する		14	身体の部位を役作りに生かす③	
15	コールドリーディングで演技する		15	身体の部位を役作りに生かす④	
評価方法	実技60%、出席40%		評価方法	実技60%、出席40%	
準備学習 時間外学習	①2分間再現の準備をする ②書籍「役を生きる演技レッスン」を読む ③生活場面の観察と発表準備を継続		使用教科書 教材 参考書		